

平成27年度中間期の業績概要

平成27年度中間決算の概要(グループ連結)

(億円)		平成26年度 中間期	平成27年度 中間期	前年 同期比	平成27年度 通期予想
経常収益	1	749	821	72	1,560
コア業務粗利益	2	555	542	▲ 12	1,140
資金利益	3	469	464	▲ 5	
役務取引等利益	4	81	84	2	
その他業務利益	5	4	▲ 6	▲ 10	
経費(△) (除く臨時処理分)	6	424	394	▲ 30	
コア業務純益	7	130	148	17	345
臨時損益	8	28	85	56	
うち株式等関係損益	9	6	56	50	
経常利益	10	210	259	49	500
中間純利益	11	134	174	40	315
与信関係費用(△)	12	▲ 26	▲ 14	12	

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

中間期としては過去最高益を計上

～有価証券関係損益の増加や経費減少が主因

・経常利益は259億円となり、前年同期比+49億円となりました。

・中間純利益は174億円となり、前年同期比+40億円となりました。

連単差

3行合算中間純利益	204億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△24億円
FG連結調整等	△6億円
YMFG連結中間純利益	174億円

平成27年度中間決算の概要(3行合算)

(億円)		平成26年度 中間期	平成27年度 中間期	前年 同期比	平成27年度 通期予想
経常収益	1	695	746	51	1,411
コア業務粗利益	2	527	518	▲ 8	1,079
資金利益	3	473	478	5	
役務取引等利益	4	60	62	1	
その他業務利益	5	▲ 7	▲ 22	▲ 14	
経費(△) (除く臨時処理分)	6	383	350	▲ 32	
コア業務純益	7	143	168	24	372
臨時損益	8	3	65	62	
うち株式等関係損益	9	6	56	50	
経常利益	10	225	282	56	525
中間純利益	11	155	204	49	355
与信関係費用(△)	12	▲ 27	▲ 14	12	

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

増収・増益決算

- ～有価証券関係損益の増加や経費減少
- ・経常利益は282億円となり、前年同期比+56億円となりました。
 - ・中間純利益は204億円となり、前年同期比+49億円となりました。

資金利益

	H27/9	前年同期比
資金利益(億円)	478	5
資金運用収益	516	3
貸出金利息	387	△7
有価証券利息	120	8
資金調達費用	38	△ 1

株式関係損益

	H27/9
株式関係損益(億円)	56
売却益	64
売却損(△)	7

平成27年度中間決算の概要(山口銀行)

(億円)

		H26年度 中間期	H27年度 中間期	H27年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	405	433	28	795
業務粗利益	2	325	305	▲ 19	
資金利益	3	258	259	1	
役務取引等利益	4	37	39	2	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	29 (35)	6 (29)	▲ 23 (▲ 5)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	189	166	▲ 23	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	▲ 6	▲ 6	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	135	139	3	
コア業務純益	9	99	109	9	266
臨時損益	10	12	38	26	
うち株式等関係損益	11	3	33	30	
うち不良債権処理額(△)	12	0	6	6	
うち貸倒引当金戻入益	13	10	-	▲ 10	
うち償却債権取立益	14	0	0	▲ 0	
経常利益	15	147	184	36	350
特別損益	16	▲ 0	12	12	
税引前中間純利益	17	147	196	48	
中間純利益	18	98	132	33	235
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 10	0	10	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

中間期としては過去最高益を計上

～有価証券関係損益の増加や経費の減少が主因

- ・経常利益は184億円となり、前年同期比+36億円となりました。
- ・中間純利益は132億円となり、前年同期比+33億円となりました。

株式関係損益

	H27/9
株式関係損益(億円)	33
売却益	36
売却損(△)	2

平成27年度中間決算の概要(もみじ銀行)

(億円)

		H26年度 中間期	H27年度 中間期	H27年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	245	259	▲ 14	485
業務粗利益	2	198	185	▲ 13	
資金利益	3	165	168	▲ 2	
役務取引等利益	4	19	18	▲ 0	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	13 (15)	▲2 (▲2)	▲16 (▲18)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	148	137	▲ 11	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	50	48	▲ 2	
コア業務純益	9	34	50	15	84
臨時損益	10	10	36	25	
うち株式等関係損益	11	3	19	16	
うち不良債権処理額(△)	12	1	0	▲ 0	
うち貸倒引当金戻入益	13	8	16	7	
うち償却債権取立益	14	2	0	▲ 2	
経常利益	15	60	84	23	145
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	0	
税引前中間純利益	17	60	84	23	
中間純利益	18	45	63	17	100
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 10	▲ 15	▲ 5	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

3期振りの増収増益

～貸倒引当金戻入益の増加や経費の減少が主因

- ・経常利益は84億円となり、前年同期比+23億円となりました。
- ・中間純利益は63億円となり、前年同期比+17億円となりました。

株式関係損益

	H27/9
株式関係損益(億円)	19
売却益	24
売却損(△)	4

平成27年度中間決算の概要(北九州銀行)

(億円)

		H26年度 中間期	H27年度 中間期	H27年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	71	70	▲ 1	145
業務粗利益	2	54	55	0	
資金利益	3	49	50	1	
役務取引等利益	4	4	3	▲ 1	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	45	46	1	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	9	8	▲ 0	
コア業務純益	9	9	8	▲ 0	22
臨時損益	10	8	5	▲ 2	
うち株式等関係損益	11	▲ 0	3	3	
うち不良債権処理額(△)	12	0	0	0	
うち貸倒引当金戻入益	13	7	0	▲ 7	
うち償却債権取立益	14	0	-	▲ 0	
経常利益	15	17	14	▲ 3	30
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	▲ 0	
税引前中間純利益	17	17	14	▲ 3	
中間純利益	18	10	9	▲ 1	20
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 7	0	7	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

減収減益で、2期振りの減収

～貸倒引当金戻入益の減少が主因

- ・経常利益は14億円となり、前年同期比▲3億円となりました。
- ・中間純利益は9億円となり、前年同期比▲1億円となりました。

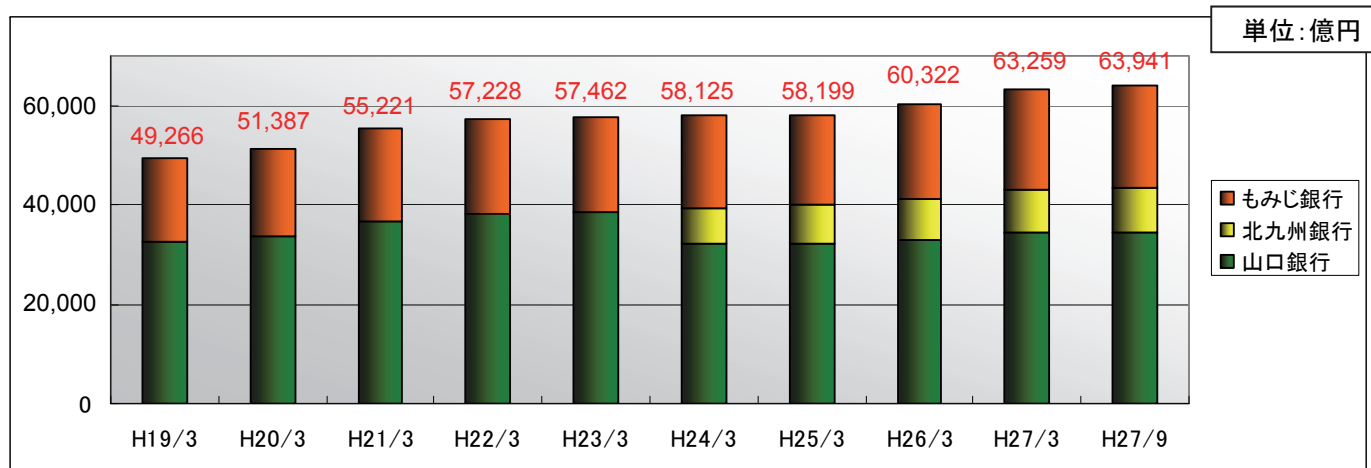
株式関係損益

	H27/9
株式関係損益(億円)	3
売却益	3
売却損(△)	0

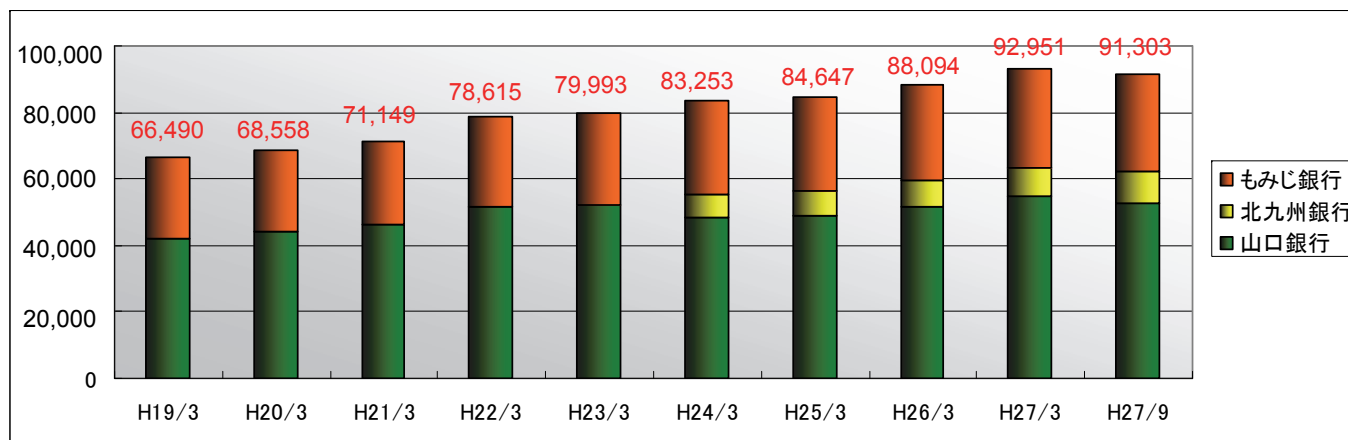
預貸金の状況

- ▶ 山口フィナンシャルグループ設立以降、預貸金は順調に増加。
- ▶ 3行合算で総貸出金はH26/3期に6兆円、総預金はH27/3期に9兆円を突破。

貸出金



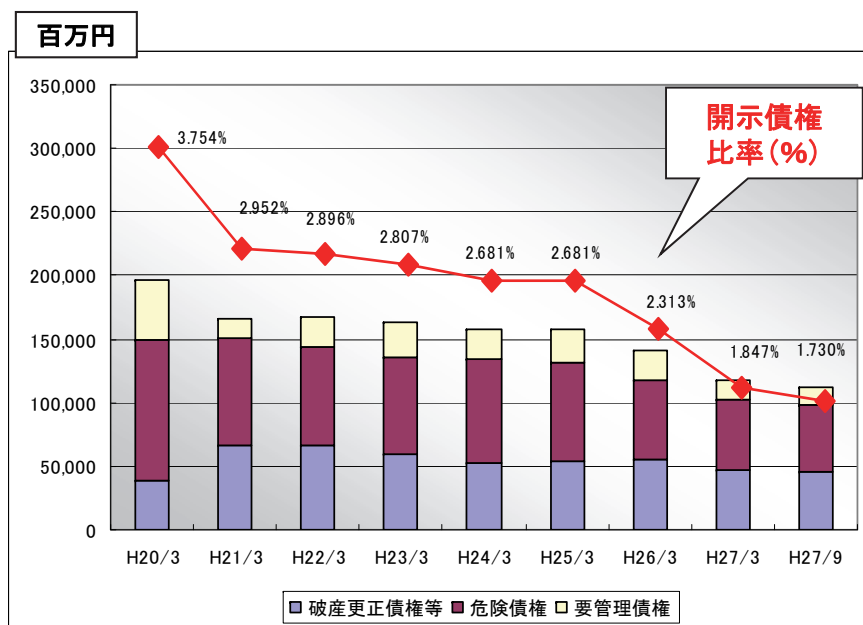
預金



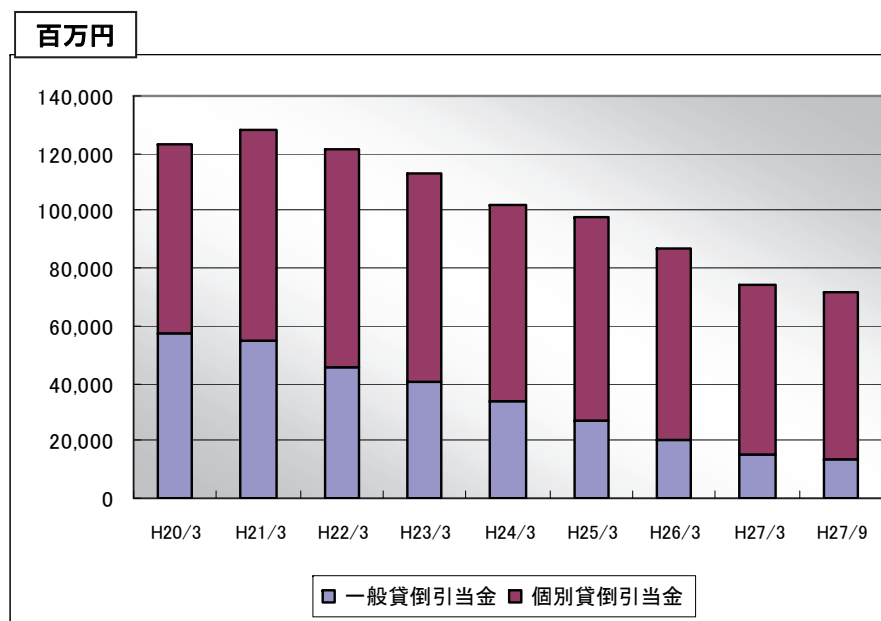
不良債権の状況

- ▶ 金融再生法開示債権残高は年次減少、同比率も遞減傾向。
- ▶ 与信関係費用については、足元は引当金戻入益の減少傾向。

金融再生法開示債権残高（3行合算）



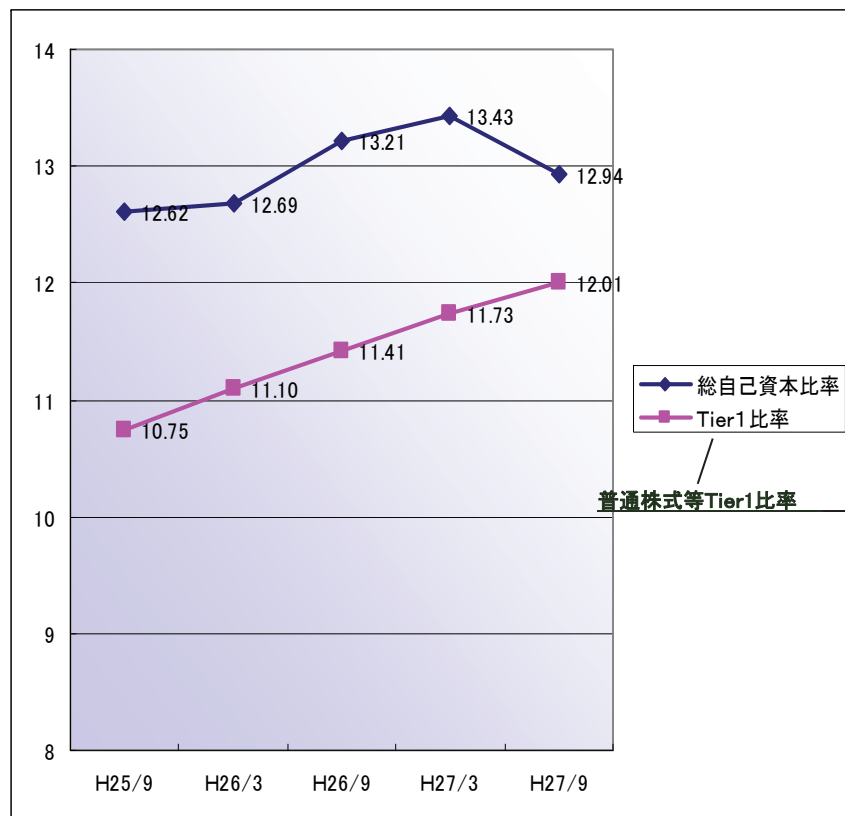
貸倒引当金の状況



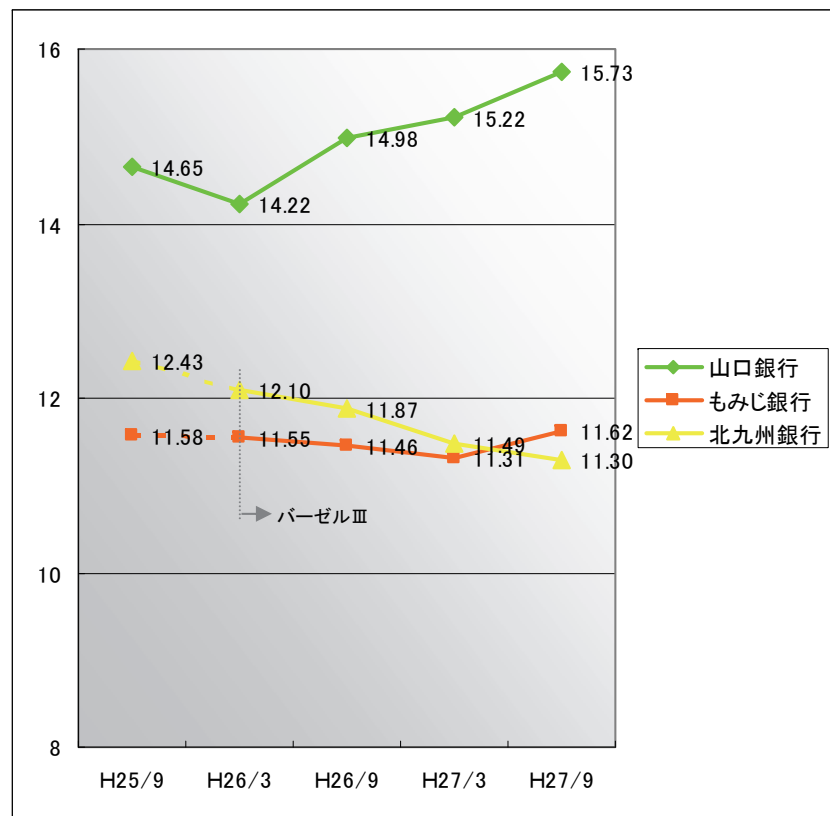
自己資本比率の推移

- ▶ 山口FG連結で、平成27年9月末 12.94% (総自己資本比率)、12.01% (Tier1比率) の実績。
- ▶ 引き続き安定的な水準を確保していく。

山口フィナンシャルグループ連結



グループ3行の総自己資本比率



預貸金利回の状況

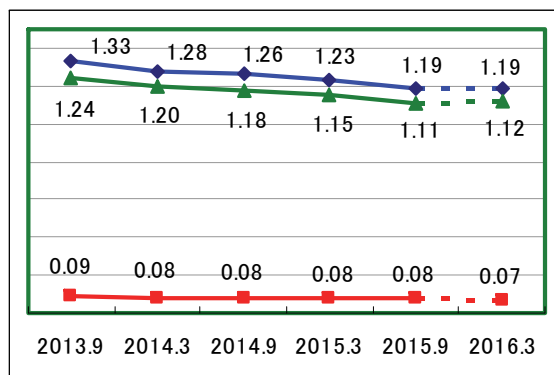
- ▶ 貸出金利回りは市場金利低下等の影響により漸減傾向。
- ▶ 山口銀行・北九州銀行は概ね期初計画どおり、もみじ銀行は計画をやや下回っている状況。

貸出金利回り

預貸金単純利鞘

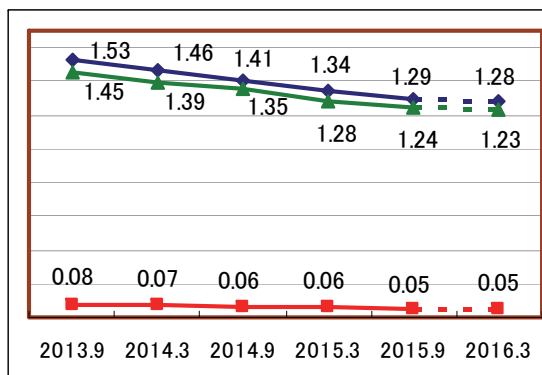
預金利回り

山口銀行



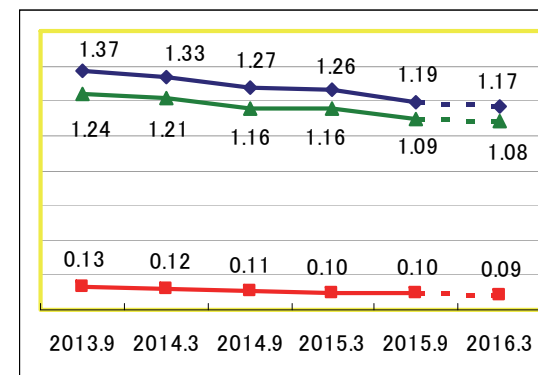
- ・平成27年9月期実績は1.19%（前年同期比△0.07%、前期比△0.04%）。
- ・期初計画からは△0.01%と概ね計画どおりの進捗。

もみじ銀行



- ・平成27年9月期実績は1.29%（前年同期比△0.12%、前期比△0.05%）。
- ・期初計画からは△0.03%とやや下振れとなっている。

北九州銀行

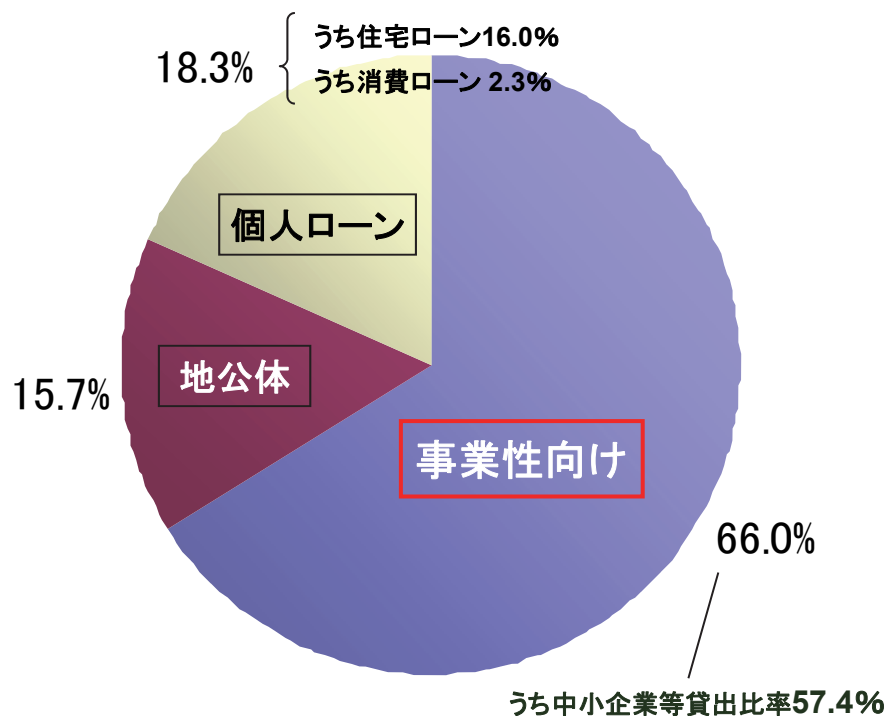


- ・平成27年9月期実績は1.19%（前年同期比△0.08%、前期比△0.07%）。
- ・期初計画からは△0.01%と概ね計画どおりの進捗。

貸出金ポートフォリオ

- ▶ グループ3行共に、事業性向け(法人・個人事業主)貸出が全体ポートの2/3。
- ▶ 事業性向け貸出・個人ローンは積み上げ余地があり、今後も重点推進していく。

貸出ポートフォリオ(3行合算)

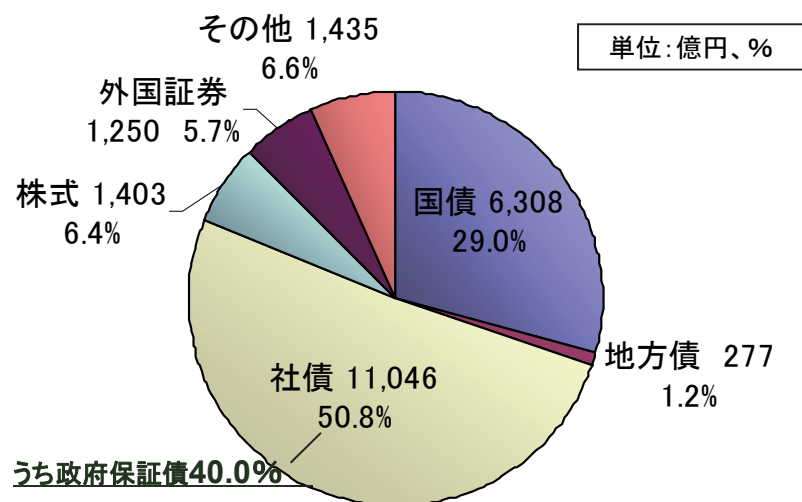


	H27/9	残高 (億円)		割合 (%)	
			前年同期比		前年同期比
3行合算	事業性向け	41,980	1,090	66.0%	-1.2%
	地公体	10,000	1,014	15.7%	1.0%
	個人ローン	11,647	636	18.3%	0.2%
	計	63,628	2,740	100.0%	0.0%
山口銀行	事業性向け	22,989	611	67.4%	-0.6%
	地公体	5,624	329	16.5%	0.4%
	個人ローン	5,509	252	16.1%	0.2%
	計	34,123	1,192	100.0%	0.0%
もみじ銀行	事業性向け	12,366	212	60.5%	-1.7%
	地公体	3,511	462	17.2%	1.6%
	個人ローン	4,551	216	22.3%	0.1%
	計	20,429	890	100.0%	0.0%
北九州銀行	事業性向け	6,624	268	73.0%	-2.5%
	地公体	864	222	9.5%	1.9%
	個人ローン	1,586	168	17.5%	0.6%
	計	9,074	657	100.0%	0.0%

有価証券ポートフォリオ

▶ 足元のポジションとして、利回りの比較的高い政保債が増加。

有価証券ポートフォリオ（3行合算）



単位: 億円

	27/3末	27/9末	27/3比
国債	7,363	6,308	▲ 1,055
地方債	403	277	▲ 126
社債	11,044	11,046	2
うち政府保証債	8,489	8,691	202
株式	1,449	1,403	▲ 46
外国証券	1,483	1,250	▲ 233
その他	1,493	1,435	▲ 58
計	23,237	21,721	▲ 1,516

保有債券デュレーション（年）

	H26/3	H26/9	H27/3	H27/9
山口銀行				
国内債	4.30	4.50	4.31	4.49
外国債	3.75	4.34	5.36	4.67
もみじ銀行				
国内債	4.44	4.03	3.63	3.81
外国債	3.35	2.68	2.67	2.22
北九州銀行				
国内債	6.60	9.98	9.61	9.46
外国債			-	-

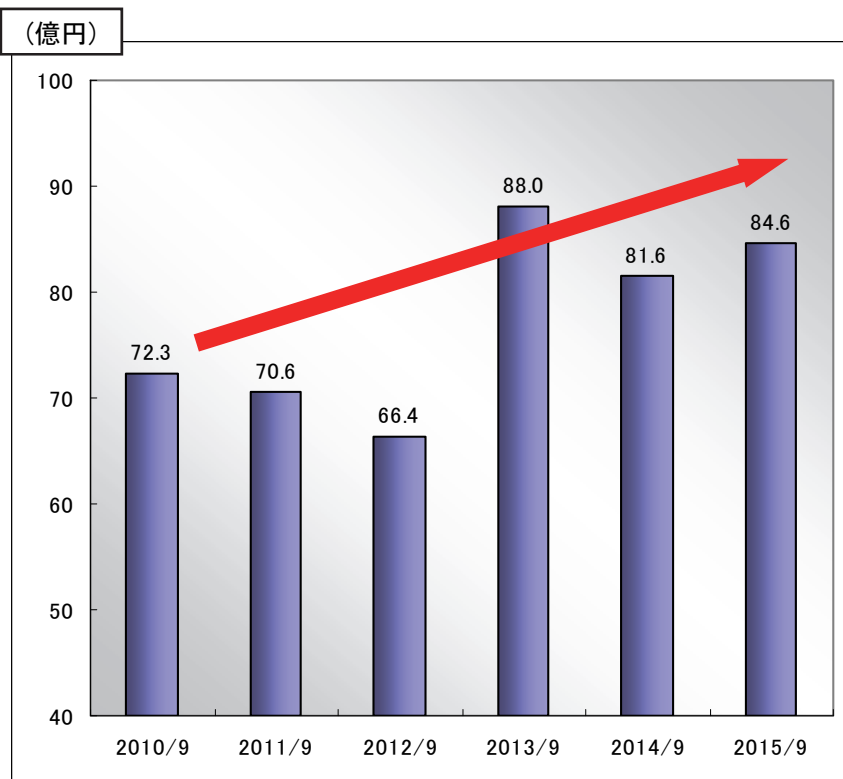
有価証券評価損益（平成27年9月期：億円）

	山口	もみじ	北九州	合計
株式	550	39	107	697
債券	128	44	4	177
その他	△ 52	△ 42	-	△ 94
合計	626	42	111	779

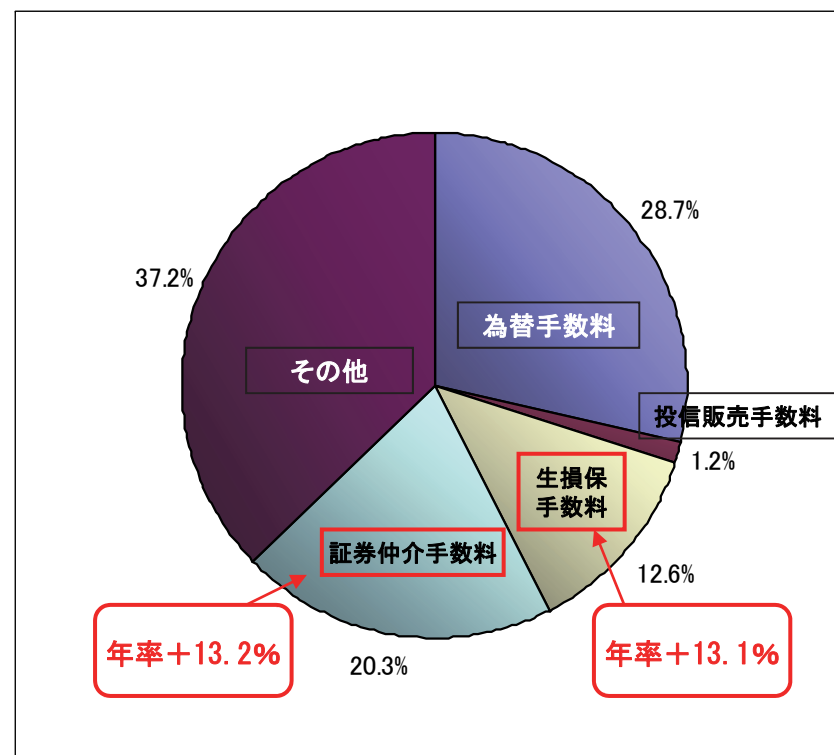
役務収益の状況

- ▶ グループ全体として役務取引等利益は増加傾向。
- ▶ 個人預り資産は、投信・仕組債・株式ニーズはワイエム証券へ仲介、保険ニーズは3銀行が対応。

役務取引等利益の推移（グループ連結）

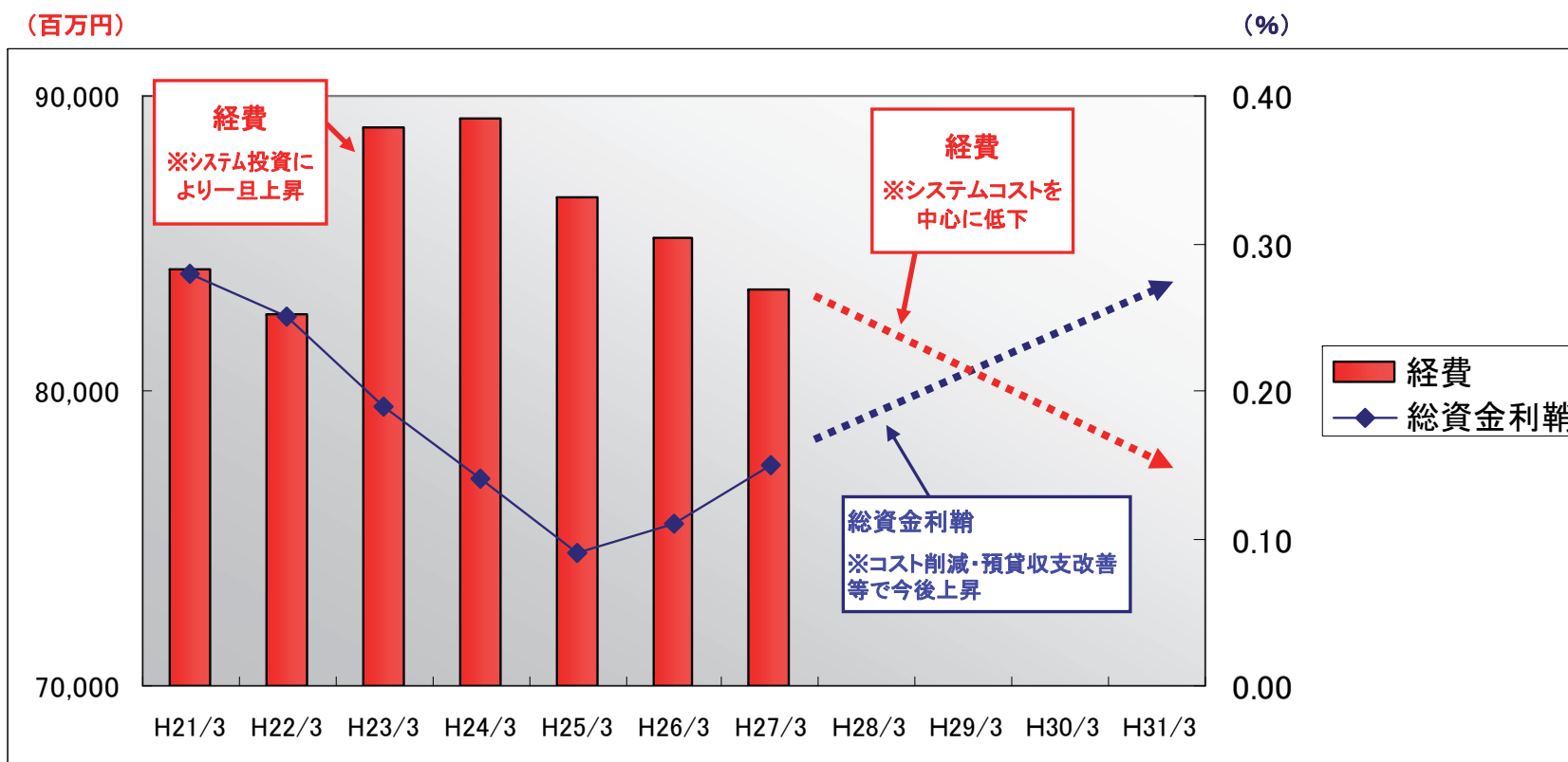


役務収益の内訳（3行合算）



経費及び総資金利鞘の推移

- ・ 共同化システム償却が順次終了するため、経費は低下傾向。
- ・ 経費のスポット増等で低下していた総資金利鞘も今後は増加トレンドへ。

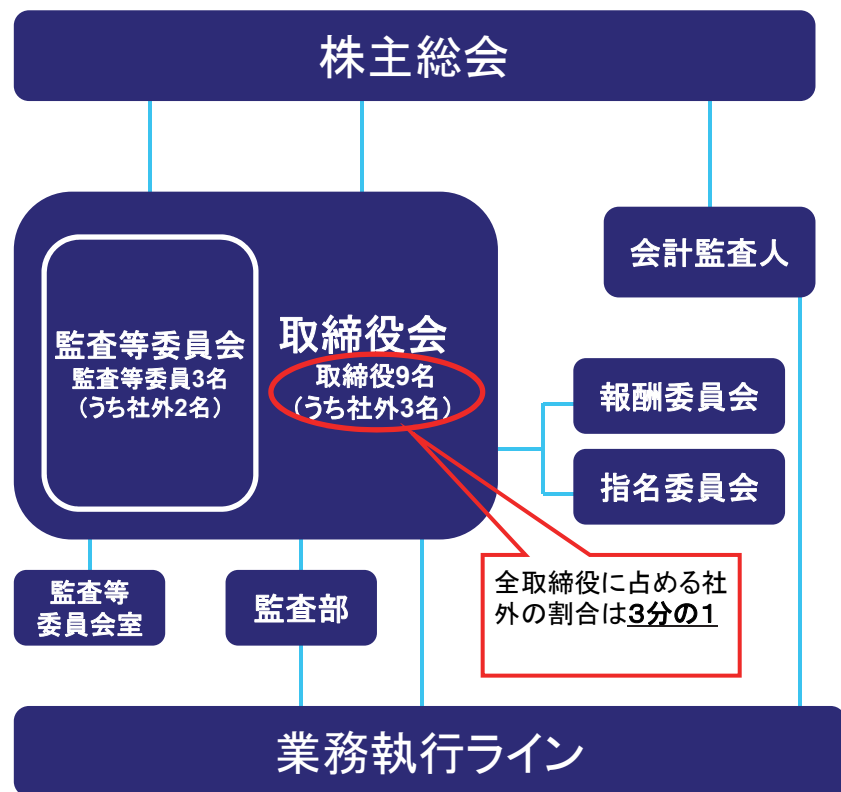


ガバナンスについて

YMF Gはコーポレート・ガバナンス整備を重視しています。

監査等委員会の設置

当社は平成27年6月に監査等委員会設置会社へ移行し、同時に当社取締役9名に対し、3分の1にあたる3名の社外取締役体制となりました。



政策投資株式について

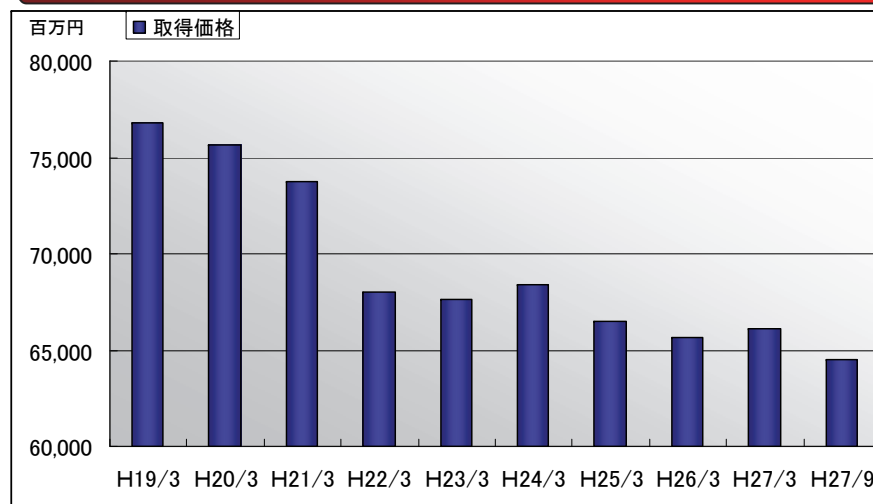
政策保有に関する方針(原則1-4)

当社は以下の方針に基づき、上場株式の政策保有を決定しております。

- ・政策投資株式については、当社グループ及び政策投資先双方の中長期的な企業価値の向上に資するか否かといった観点などから総合的に保有の是非を判断し、保有の合理性が認められる場合を除いて保有しません。

- ・保有する政策投資株式および政策投資先との取引のリスクとリターンを定期的に検証し、当該政策投資先との取引関係なども含めた総合的な見地から政策保有の是非を判断します。

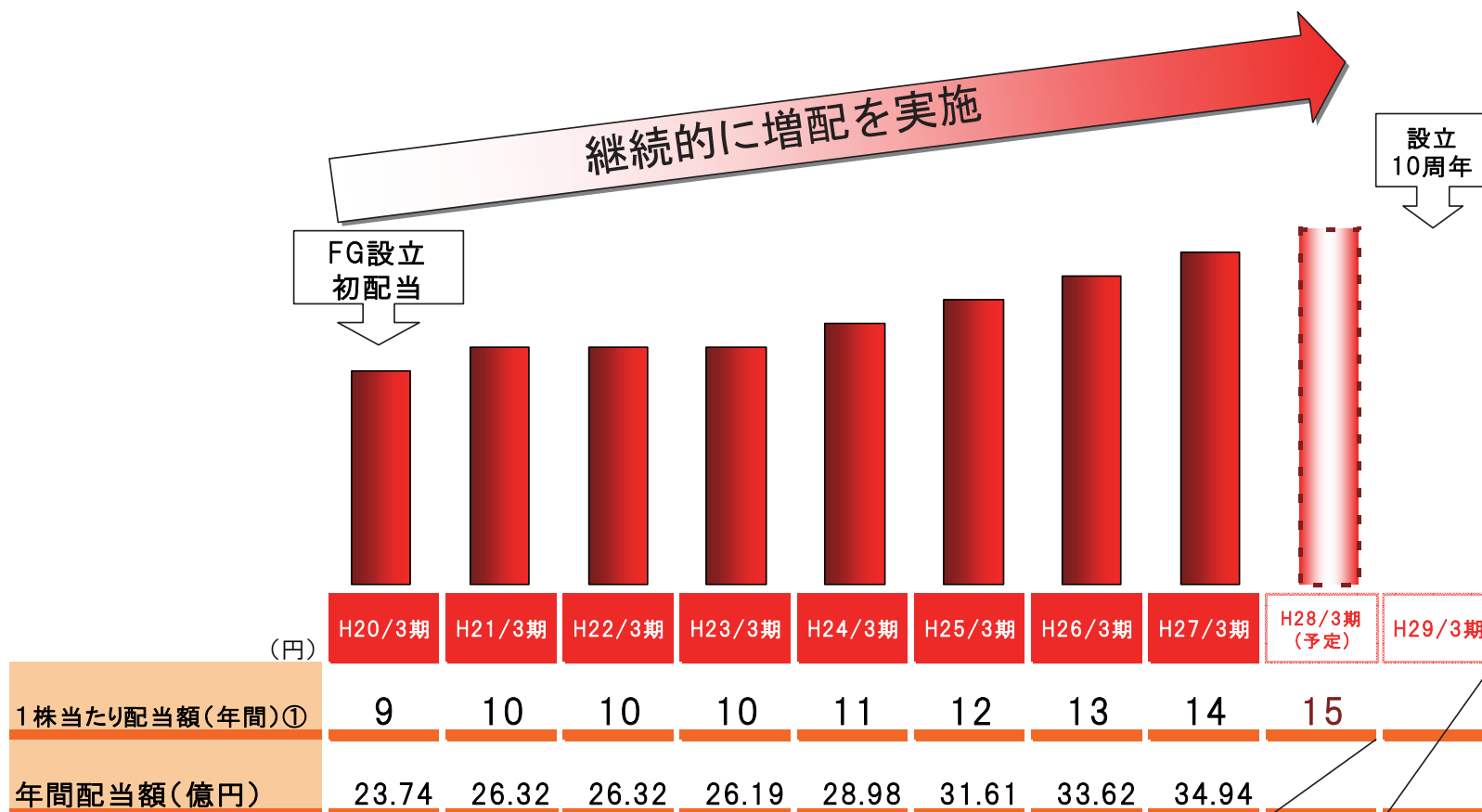
政策投資株式の残高推移(取得価格)



Yamaguchi Financial Group

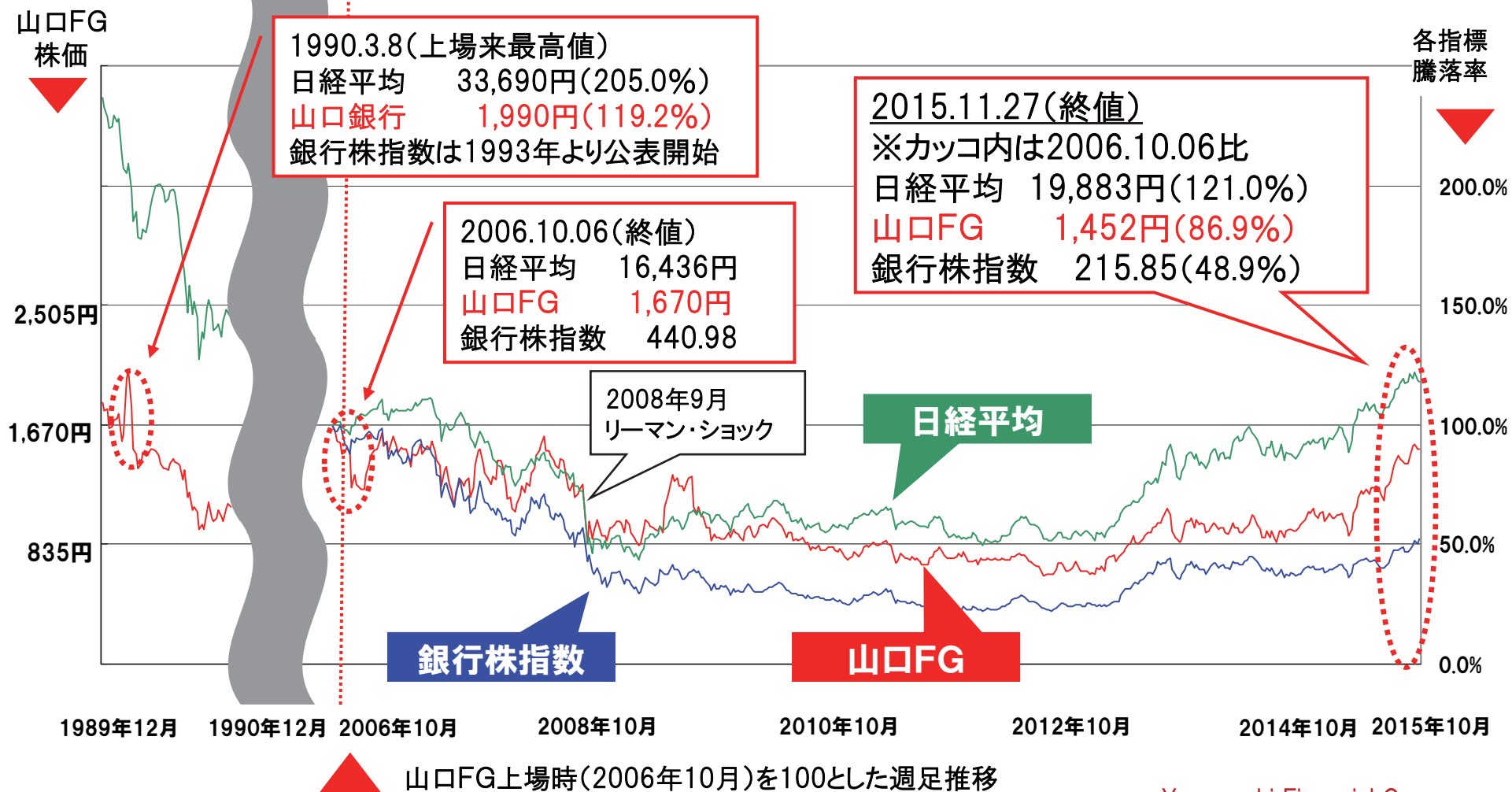
配当実績

- ・ 中長期的な安定配当を基本とした株主還元を実施していく。
- ・ F G 設立以来、継続的に増配を実施し、配当は設立比約 1.5 倍の水準へ。



株価推移

- ・ 2006年10月に上場して以降、2007年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- ・ 平成27年11月27日時点の山口FG株価は1,452円（山口FG上場時比86.9%）。



平成28年3月期の業績予想

- ・平成28年3月期は減収・増益決算見込み。増益の主因は経費減、有価証券関連損益増によるもの。
- ・中計最終年度として、経常利益500億円(前年同期比+26億円)、当期利益315億円(前年同期比+10億円)を見込む。

1. 山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結		
	通期予想	27/3比	中計比
経常収益	1,560	△ 30	-
コア業務粗利益	1,140	△ 9	△ 140
コア業務純益	345	31	△ 85
経常利益	500	26	85
当期利益	315	10	65

2. 3行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	27/3比
経常収益	1,411	△ 53
コア業務粗利益	1,079	△ 8
資金収支	925	△ 48
役務収支	146	20
経費	707	△ 43
人件費	331	2
物件費	335	△ 44
コア業務純益	372	34
経常利益	525	27
当期利益	355	33
与信費用	△ 8	32

3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	通期予想	27/3比	通期予想	27/3比	通期予想	27/3比
経常収益	795	△ 55	485	△ 31	145	5
コア業務粗利益	600	5	364	△ 19	115	5
資金収支	506	△ 29	317	△ 23	101	3
役務収支	91	14	43	5	11	3
経費(△)	334	△ 35	280	△ 9	93	2
人件費(△)	157	2	131	△ 1	42	1
物件費(△)	159	△ 36	130	△ 10	45	1
コア業務純益	266	41	84	△ 9	22	3
経常利益	350	37	145	△ 9	30	0
当期利益	235	34	100	△ 6	20	5
与信費用	3	9	△ 17	8	6	15

Yamaguchi Financial Group

※記載金額は、単位未満を切捨て表示